

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 わくわくクラブ ジュニア（新越谷校）・放課後等デイサービス

公表日 2026年 2月 20日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	・十分な広さがある	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	・配置基準を満たした上加配を配置している	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	・入口やトイレ、普段過ごすスペースをフラットにし整理して分かりやすい空間を心がけている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	・毎日掃除と消毒を実施 ・安全で楽しく身体を使った遊びがしやすいレイアウトにしている	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	・クールダウン用の個室も用意	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	1	・教室会議を毎月実施しPDCAサイクルを全員でおこなうようにしている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・毎年評価を依頼し、指摘があった場合は改善に努めている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・会議や個別面談を通して意見を把握できるようにし業務改善につなげている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	10	・保護者や内部スタッフの評価から改善につなげるよう努めている	・第三者評価は受けていない
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・法人内研修は毎年実施している ・県の研修等も活用している	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	・5領域に当てはまる支援プログラムを作成しHPで公表している	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	・体験時の様子や保護者の方からのお話を元にニーズや課題を分析して計画作成をしている	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	・計画作成には支援会議をおこない職員の意見も取り入れている ・共通理解の下で利用者の最善の利益を考慮して作成	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	・教室会議で共有すると共に日頃から確認できるようにしている	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	2	・子どもの行動をしっかりと観察して記録し発達検査の情報も生かしながら確認をしている	・アセスメントについて職員間で理解を深められるようにする
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	・計画書にはすべての項目を適切に設定し、具体的な支援内容を設定している	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	・チームに幅広くアイデアや意見を求めて立案している	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	・子どもたちが主体的に活動し楽しんで成長できるようプログラムを更新している	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	・子どもの状況に応じて対応している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	・毎日必ずおこない、チームで連携して支援をおこなっている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	・毎日必ずおこない、振り返りをすると共に子どもについての情報を共有するようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	・日々の支援内容を記録し、支援の検証改善につなげている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	・半年に一度以上面談をおこない目標達成度やニーズの変化をヒアリングし見直している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10	0	・複数組み合わせをおこなっている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	・活動内容を自分の意思で選べるように選択肢を用意している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	・児発管が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	・連携するようにしている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	1	・送迎を実施していないため保護者からの希望に応じて限定的におこなっている状況	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	・必要がある場合にはおこなう用意がある	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	2	・要望がある場合にはおこなう用意がある	・これまで要望が出ていない ・個人情報の観点から独自にはおこなわない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1	・研修やセミナーに参加している	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	2	・市の放デイ連絡会合同運動会に参加等積極的に実施中 ・系列の他教室との交流も実施	・個人情報の観点や個々の希望の違いによりおこなっていない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0	・市の放デイ連絡会に参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	・送迎時に状況を伝え合っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	6	・児発管が研修受講済みのため理論の理解はできている	・他事業所で実施している所はあるため役割分担をしてもらっていると理解している
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	・契約時に丁寧におこなっている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	・契約面談時にじっくり聞き取っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0	・面談の際に説明し、同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	・ご要望に応じて相談の機会をもうけて助言と支援をおこなっている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0	・わくわくカフェを開催し、悩み相談や交流ができるようにしている	・きょうだい児への交流機会は今後検討していきたい
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	・迅速に対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0	・毎月教室だよりを発行しHPやSNSでも発信をしている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	・十分留意している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	・真摯におこなっている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	4		・個人情報の観点からおこなっていない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	・マニュアルを策定し、訓練を随時おこなっている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	・BCPを策定し、訓練をおこなっている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	0	・契約前に確認をしている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	・重篤なアレルギーがある場合は指示書提出を依頼している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	・安全計画を作成し、管理をしている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1		・今後より分かりやすく周知したい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	・ヒヤリハットの記録をした上で職員間で共有・再発防止に努めている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	・一年に一度以上研修を必ずおこなっている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	・該当する児童がいる場合には検討をし説明と了解をおこなった上で計画書に記載していく		